



男女共同参画社会基本法

▶平成11年6月に公布・施行され、国や地方公共団体、国民の責務を明らかにし、男女共同参画社会を実現するための5つの基本理念を定めています。

1 男女の人権の尊重

個人としての尊厳を重んじ、男女の差別をなくし、一人の人間として能力を発揮できる機会を確保する必要があります。

2 社会における制度または慣行についての配慮

社会の制度や慣行が男女の社会における活動の妨げにならないよう、配慮する必要があります。

3 政策等の立案および決定への共同参画

男女が社会の対等な構成員として、行政の施策や方針などを立案・決定する場に参画する機会を確保する必要があります。

4 家庭生活における活動と他の活動の両立

家族が互いの協力と社会の支援を受けながら養育や介護などの役割を果たし、さらに、仕事や学習、地域活動など、他の活動を行うことができるようにする必要があります。

5 国際的協調

男女共同参画社会の形成には、他の国々や国際機関とも相互に協力して取り組む必要があります。



男女共同参画週間講演会

▶田川市男女共同参画センター主催の講演会「ゆめっせフェスタ2014」が次のとおり開催されます。講師が提唱する「亭主が変われば日本が変わる!」を、ぜひこの機会に、お聞きください。

日時 6月21日 日 13:00～ **入場無料**

場所 田川青少年文化ホール

講師 天野 周一さん (全国亭主関白協会会長)

演題 「夫婦円満の極意、戦わずして負ける」

申込期限 6月16日 日

※ 託児をご利用の場合も上記までにご予約ください。

☎ 田川市男女共同参画センター ☎44-0159

誰もが個性輝く男女共同参画社会の実現を目指して

「自分らしさ、を大切に

「男らしさ」「女らしさ」というイメージにとらわれることなく、男も女も共に「自分らしさ」を尊重し合い、誰もが輝き、充実した人生を送る…。町では、そんな個性豊かな男女共同参画社会を目指しています。

☎ ほのぼの館 ☎22-6290



男女共同参画週間 6月23日 月～29日 日

▶平成11年6月23日に、「男女共同参画社会基本法」が施行されました。このことから内閣府男女共同参画推進本部は、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」とし、その目的や基本理念について理解を深める活動を展開しています。男性と女性が、職場や学校、地域、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには行政だけでなく、みなさん一人ひとりの取り組みが必要です。この機会に、男女のパートナーシップについて考えてみませんか。



↑今年の週間のキャッチフレーズは「家車場のパパチカラ」。

福智の風

▶お中元や暑中見舞い、残暑見舞いなど、暑さが増していくこの時期の贈り物に、福智ブランド第一号認定品の「ふくち☆リッチジェラート」はいかがですか(P20)。現在販売しているフレーバーは5種類で、いずれも福智産原材料が持つ魅力を最大限に引き出した本格ジェラートです。日ごろお世話になっている大切な人へ、ぜひ福智印の逸品を。(久原)

▶突然ですがみなさん、「笑顔」は得意ですか?取材で色々な方に笑顔をお願いすることが多いのですが、半数近くが苦手派…。そんなあなたに「思いやりの教室」(P23)で接客のプロから聞いた、どんな人も笑顔になれる「魔法の言葉」をこっそり教えます。その言葉は「ミッキー」。今、口ずさんだあなたは、素敵なお笑顔になれていますよ。(相原)

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

風さやぐ葉かげに梅のつややかに小さき実あまた青く光れり
庭木々の若葉しげりてさらさらと春陽におどるごとくに揺るる
鶯にんて吹きし口笛は互いに譲れぬ意地と意地
兄上は白装束の旅支度まご子に目守られ花の黄泉路へ
挿入の古き新聞つい読みて整頓いまだ終らざりけり
長茄子の植え付けおえて眺むれば肩と小腰の痛み忘るる
充分にしあわせなれど一抹の寂しさよぎる老いの夕暮れ
肅とせし射場に立ちて弓を射る打起すとき鶯の声

三村 和子
桑野 昭子
高村 三也
福田キヨ子
前田 信子
八代 範夫
白石 信子
福田 昌

はな・落の薔句会

池田一歩選

孫くれしバラのブーケの香り抱く
寝ながら食べる筍夕餉かな
床の間に太兵衛の兜初節句
蒲公英の絮のあらたな命かな
乗り出して菓立つばかりの燕の子
癒やしとは人はそれぞれ春の風
吉兆の証の如し松の花
柔らかき日差しに揺れる花水木
同じ庭眺めて飽きず五月晴

日高八重子
松本 三男
山本ひろし
香月 眸
高津 澄子
千手 弘子
熊谷カツミ
井上タミ子
永末 公恵

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

春愁のランブが誘ふ珈琲館
田の神へ粗相なきやう畦を焼く
椿落つ水の張力窪ませて
夫の背へ羽織る一枚花の冷
美声とは噂ぞかし四方の山
初桜帽子黄色に登下校児
鶯の音色さまざま銜して
夜を灯し見せ場の桜吹雪かな
喜びに満ちたる午後のチューリップ
朝さくら深呼吸して出勤す

仲谷ひろえ
長副美恵子
松岡 萬枝
今井三千代
小川 雪
西田 真美
山本 空木
岩井ひさ幸
桂 啓子
建部三由紀

方城句会

池田一歩選

樟若葉歌声喫茶弾む声
明るさの水辺に映へて濃山吹
道を説き人を解かれて花御堂
スレンダー目指して機具を求む夏
片栗の花へと続く苔の径
香の満ちて春爛漫の順路かな
車窓より塔の名残や花の京
幼巫女桜にささぐ文弥舞

渡邊 一枝
尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
藤井耿之介

写真が語る なるの 写真館



第20回旧赤池町民体育祭
撮影者●不明
撮影日●昭和56年5月17日

公民館対抗リレーなど各地区を上げて競い合った「町民体育祭」。合併する前年まで、44回にわたって開催されました。この年は、約3千人が参加し、17種目で熱い汗を流しました。

昔の写真を探しています!
☎ 総務課広報・広聴係 ☎22-0555

